

提 案 書

【 金子加代、小幡俊之 】

議論を進めるための提案

【実施する方策】

- 1 アドバイザーの設置
- 2 学識経験者や公募市民などによる諮問委員会（仮称）を作り、議論を深めていく。

【具体的な内容】

- 1 アドバイザーの設置
きちんとした議論ができるように学識経験者にアドバイザーになって頂く。
- 2 学識経験者や公募市民などによる諮問委員会（仮称）を作り、議論を深めていく。
 - ① 諮問機関の公募委員については、年齢・性別・意見などに配慮して選ぶ。
 - ② 議運でやったように学識経験者などによる基本的な話を行ってもらおう。
その時は公開で行い、参加した市民にアンケートを行う。
 - ③ 市民と議員で話し合いを行う。
 - ④ 諮問委員会で中間報告をする
 - ⑤ その結果を含め、市民に広く意見を聴いた上で、最終報告をまとめて頂く。
 - ⑥ 最終報告を受けて議会として最終判断を行う。

【実施する方策】

【具体的な内容】

